

Injury Alert (傷害速報)類似事例

No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷 類似事例 4

事例	年齢：0歳5か月 性別：男児 体重：7kg 身長：65cm
傷害の種類	転落
原因対象物	抱っこ紐（対象3~36か月）（図1）
臨床診断名	後頭骨骨折
医療費	352,250円
発生状況	発生年月日・時刻 2017年11月2日 午前9時30分
	発生時の詳しい様子と経緯 母が抱っこ紐を前方につけて児を対面するような形で抱っこしていた。ベランダで洗濯物を干そうとして、台に置いた洗濯籠から洗濯物を取り、上方に母が腕を伸ばしたところ、抱っこ紐の脇から児の臀部がすり抜けて、母の足元に落下した。落下した高さは1mほどで、床はコンクリートであった。児は臀部を打撲したあと頭部を打撲し、すぐに啼泣した。心配した母親がすぐに救急要請し、医療機関に搬送された。 抱っこ紐は、児が座る部分にヒップシートと呼ばれる発泡スチロールが入っていたが、抱っこ紐の脇に臀部を突き出し、腹部と足で「く」の字のようになり、突き出した臀部が脇からすり抜けてしまった。以前からお尻を自由に動かし、不安定になることがあった。
治療経過と予後	来院時意識清明で痙攣や麻痺はみられなかったが、右後頭部に長径3cmの著明な腫脹を認めた。頭部CT検査を施行したところ、右後頭部皮下に帽状腱膜下血腫、その直下の後頭部に骨折を認め、入院し経過観察となった。入院後もバイタルサインは安定しており、異常な神経症状の出現なく経過した。 家族への指導（日常の育児に関すること）、新しい抱っこ紐購入と使用方法の確認など行ってから、入院6日目に退院とした。退院後半年以上外来で経過を確認しているが、問題はみられていない。



図1. 実際の製品を装着した様子

Injury Alert (傷害速報)類似事例

No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷 類似事例 5

事 例	年齢：3 か月 性別：男児 体重：3.67kg 身長：55.0cm	
傷害の種類	転落	
原因対象物	抱っこ紐（ベビーキャリア+インファントインサート）	
臨床診断名	右頭頂骨骨折、急性硬膜外血腫、帽状腱膜下血腫	
医 療 費	295,790 円	
発 生 状 況	発生場所	自宅のトイレ
	周囲の人 ・状況	児をインファントインサートに入れて、父がそのインサートをおさめた状態でベビーキャリアを肩にかけていた。
	発生年月 日・時刻	2018年2月15日 午後8時40分
	発生時の 詳しい様子 と経緯	身長 184 cmの父親が、児をインファントインサートに入れ、そのインサートをおさめた状態でベビーキャリアを肩から掛けていた。父親がトイレに行った際に、ベビーキャリアの腰ベルトを外し、便座に腰かけた。その後、腰ベルトを外したまま立ち上がったところ、インファントインサートごとおよそ1mの高さから転落した。本児は右側頭部側から直接床に転落した。直後に児は大きく啼泣し、右頭部が腫れてきたため、自家用車で来院した。
治療経過と予後	<p>来院時、バイタルは体温：37.0℃、脈拍数：178 回/分、酸素飽和度：98%（大気下）であった。右側頭部が膨隆しており、触ると痛がる様子が見られていた。頭部 CT 検査を行い、打撲部位に頭蓋骨骨折・急性硬膜外血腫が見られたため、経過観察目的に入院した。</p> <p>受傷3時間後に再度 CT 検査を行ったが、血腫の増大は見られず、受傷10時間後の CT 検査では血腫は消退傾向であった。その後も全身状態は良好であり、2月19日に退院した。退院後、症状・後遺症はなく、受傷3か月後の CT 検査では、血腫は縮小・消退傾向、骨折は癒合傾向にあった。</p> <p>なお本児は双胎第2子。29週1日で出生（出征時体重 1234g）。出生後は特記すべき基礎疾患を指摘されていない。</p>	

<受傷状況>

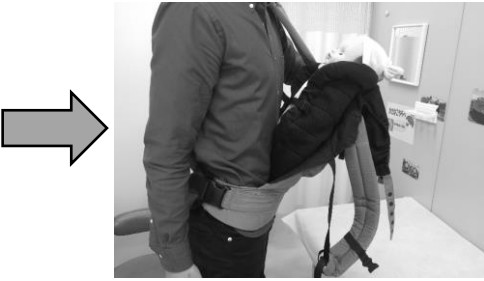
(父が立ち上がった際に父の身体とインファントインサートとの間に隙間ができ、その隙間から転落した)



インファント インサート



ベビーキャリア



腰ベルトを装着した状態



腰ベルトを外した状態

